

(別添7)

事業所名 グループホーム敬天

2 目標達成計画

作成日：平成22年 4月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	41	水分摂取目標を1300cc以上に設定して、こまめに記録したり、飲み物を変化させたりして殆どの入居者は目標にたっている。しかし1名、拒否や、咳込みなどあり、1000ccに達しない日も多い。	一日の水分摂取量1300ccの達成。最低でも1000ccはクリアする。	○飲める飲料探し ○ゼリーなどの水分量の多い食品の提供 ○水分を取っていただける時間帯での工夫	6ヶ月
2	37	本人の思いや、意向は日常の会話の中から斟酌して、行っているが、改めて、意向を聞くという場を設定していない。 ミーティングなどに同席したそうにしている利用者が居る。	利用者会議を開き、行事や、食事内容その他日常生活についての意見を承り、気持ちに添った支援を目指す。	○月1回の利用者会議を開く。 ○レジュメを用意し、行事や、食事については具体的なイメージが浮かぶよう絵や写真を用意する。	3ヶ月
3	10	年2回家族会を開いているが、職員抜きの家族同士の交流が出来ていない。	家族会が真に家族間の互助的な役割を果たすようにする。	年2回の家族会の時職員抜きで家族だけで話し合う時間を設定する。	12ヶ月
4	11	自己評価の中で、必ずしも全職員に運営推進会議や、グループホームの運営について共通認識が徹底していないことが判明した。	運営推進会議や外部機関との関わり、その他管理者、計画作成担当者のしている仕事を全職員に認識できるようにする。	○輪番による運営推進会議への職員の参加 ○上部機関提出の調査票などについて、職員へ報告する。 ○家族への報告や家族の思いを全職員で共有出来るように情報を提供する	12ヶ月
5	29	運営推進会議への自治会長・民生委員出席・地域行事への参加など積極的に行っているが、反面地域の人への認知症や、グループホームの意義などの理解は浸透していない。また地域の認知症予防の取り組みもなされていない。	地域の人へグループホームを知っていただく。 ひいては地域の認知症予防の拠点となれると良い。	○グループホームの広報を自治会に配布する。 ○広報の中に認知症予防の情報を載せる。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。